

令和2年第7回東近江市教育委員会（臨時会）会議録

日 時 令和2年8月25日（火） 午前8時30分 開会

場 所 東近江市役所 東庁舎 A会議室

出席者

教育長	藤田 善久	教育長職務代理者	綾 康典
教育委員	青地 弘子	教育委員	篠原 玲子
管理監（学校教育担当）	三輪 光彦	教育総務課長	中西 美智代
学校教育課参事	谷村 昌則	学校教育課指導主事	平井 茂太
学校教育課指導主事	安本 剛	事務局（教育総務課長補佐）	中野 里栄子

以上 10名

事務局 開会

教育長

皆さん、おはようございます。ただ今から、令和2年第7回教育委員会臨時会を開催させていただきます。

先日、教科用図書第3地区採択協議会で来年度から使用します中学校教科用図書についての採択の協議がなされ、本日審議いただく内容の提案をさせていただきます。

たくさんの教科がございますのでほぼ午前中かかるかと思ひますし、傍聴の方もいらっしゃると思いますのでスムーズな議事進行をお願いしたいのですが、活発な意見交換をしながらということでもよろしくお願ひしたいと思ひています。

第3地区採択協議会につきましては5月からスタートしまして、各担当の教員3～4人がそれぞれの教科全てを読み比べて本市の子どもたちにとってよりよい活用しやすい教科用図書を選定し、先日、採択協議会を開催する中で決定をしております。本市教育委員会においては綾委員にも参加していただいております。臨時会開会の前に、本日の臨時会に傍聴の申し出がございますので、「東近江市教育委員会議事運営に関する規則」に基づき、これを許可することとしてよろしいか。

各委員

（異議なし）

教育長

それでは、これを認めることとし、入場を許可します。

（傍聴人着席）

教育長

それではただ今から、令和2年第7回教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

なお、今回の第7回臨時会の会議録署名委員は、「青地委員」と「篠原委員」を指名させていただきますので、よろしくお願ひします。

それでは議案に基づきまして、議案第24号「令和3年度から使用する東近江市立中学

教育長

校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」担当から説明をお願いします。なお、説明については教科ごとに説明をしていただいて、質疑を受けて、最終全て終わった段階で採決を採らせていただきますのでよろしくお願いします。

学校教育課参事

本日は、議案第24号にて令和3年度から使用する中学校教科用図書を、議案第25号にて令和3年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書に係る審議及び採択をお願いいたします。

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律では、教科用図書の採択については、「第十三条の4採択地区内の市町村の教育委員会は、協議により規約を定め、当該採択地区内の市町村立の小学校、中学校及び義務教育学校において使用する教科用図書の採択について協議を行うための協議会を設けなければならない。」「第十三条の5当該採択地区内の市町村の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない」とされています。

これを受けまして、東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町からなる滋賀県教科用図書第3採択地区協議会では、5月14日に第1回協議会を開催し、今年度の規約、事業計画、予算案を決定すると共に、調査研究部長・専門調査研究員の選任を行って、各教科の部会・小学校特別支援部会・中学校特別支援部会が設置されました。その後、調査研究部長会を経て、5月下旬から7月下旬にかけて調査研究員による調査研究と部会での協議が行われました。去る8月17日には第2回協議会にて、各部会での調査結果の報告を受け、審議、選定が行われました。

本日は、この協議内容と結果を報告するとともに、本市で使用する教科用図書について、議案第24号・議案第25号として、協議、採択をお願いするものです。

まず、議案第24号「令和3年度から使用する東近江市立中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」令和3年度から中学校で使用する教科用図書について、滋賀県教科用図書第3採択地区協議会の選定を受けて、本市立中学校の教科用図書として採択したく、本議案を提出したものです。選定されました教科用図書は議案に一覧表にしました。これらの教科書が協議会で選定されました。協議会での審議内容につきまして、議案の表の順に説明します。

調査研究部会では文部科学省の検定済教科用図書について、基本的には調査研究資料にあります①～⑥の観点について調査を行い、「教科用図書採択方針観点に立っての評価」に掲載しました。さらに教科の特性に合わせてこれを少し発展させて評価をしている教科もあります。

- ① 図書の内容が学習指導要領に示されて目標及び学年の発達段階に即応しているか。
- ② 図書の内容の組織、配列、分量が適切であるか。
- ③ 現代的な課題が扱われ、道徳的価値の理解に関わり自主的・自発的な学習に結びつくものであるか。
- ④ 体験的・問題解決的な学習や多様な考え方を活かす言語活動に結びつくものであるか。
- ⑤ 表現、表記及び資料、図表、写真、挿絵などが適切でかつ正確であり、造本に創意工夫がなされているか。
- ⑥ 図書の内容が家庭や地域と結びついた学習となるように工夫されているか。

学校教育課参
事

といった観点で評価を行いました。順番に結果を申し上げます。

(学校教育課から説明・・・国語)

学校教育課参
事

国語科は東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社です。

様式C-1は調査研究の資料のまとめでございます。ABCで評価がなされています。御覧のとおり三省堂の評価が一番高くなっています。特に、観点別評価のABCでいいますと、②④⑤などが特に評価が高くなっています。

②では、話す、聞く、書く、読む、ことばの特徴や使い方、言語文化がバランスよく配列されていて評価一覧では各単元において付けたい力が明確に記載されています。

④では、読み方を学ぼうを配置することによって、生徒が学んだ読み方を活用して教材を読み進めるという工夫がなされています。

⑤では、「私の本棚」のところで単元に関わる本の紹介がされ、興味を広げることに役立つといったことが三省堂の良かった点です。

国語については、1年生を中心に例を御覧いただきますので御理解ください。

まず、東京書籍の1年生の教科書28ページを御覧ください。各教科で身につけたい力を言葉の力という囲みで生徒に分かりやすく明示し、指導事項が3年間で系統的、段階的に積み上がるように配置されています。

29ページを御覧ください。本教科書の最大の特徴である「学びの扉」が単元ごとにあります。6人の生徒とコトハという個性豊かな独自のキャラクターと漫画風のイラストをふんだんに使って学びの要点がわかり、課題に気づき言葉の力が身に付く工夫がなされています。ただ、実際にこれがわかりやすいかどうかは使い方次第です。

336ページを御覧ください。一番最後の見開きになっている箇所が一番最後です。Dマークコンテンツが示された教材が古典や文法や対話の教材に付いています。下に解説がありますが、学習に関連する音声や映像などの資料を活用することができます。インターネットを通して音声や映像などの資料を見ることができ、学びの深まりが期待できます。ただし、教室内で活用するには課題がたくさんあるように感じています。

42ページを御覧ください。二段の紙面構成があり、行数が数えやすいように数字が示してあります。この二段構成が1年生の教科書に6教材もあり、1年生には見にくい教材になるのではないかと感じております。他にも織り込み部分がカラーになっているものもあり興味を引くものになっていますが、若干、活字が小さく詰め込んでいるような印象を持っております。C1のような評価とさせていただきました。これが東京書籍でした。

次に、三省堂の教科書について説明をします。現在、国語科の教科用図書は三省堂のものを使っています。1年生の18ページを御覧ください。この教科用図書の最大の特徴である「まなびの道しるべ」と「思考の方法語彙を豊かに」が見開き1ページにまとめられています。これは、各教材の後に付いており学習の見通しが持てるようになっていきます。今回の改訂で目標を記載し、付けたい力を明確化にし、学習の過程から振り返りまでキーワードをあげて、ヒントを出しながら自主的に学習ができるように構成されています。

思考の方法というコーナーを御覧ください。18ページの下の方にあります。新学習要領の改訂のポイントのひとつにある考えの形成に関する指導がスムーズにできるように工夫されています。「語彙を豊かに」というところでこれを配置することにより、語彙力を身につける工夫がされています。全ての教科における資質・能力の育成や学習基盤となる言

語能力を支える重要な要素である語彙力の育成については新学習指導要領の改訂のポイントのひとつです。言葉を見つめ、言葉を知ることが社会生活に生かすことができると思います。

40ページを御覧ください。3年間で22の読み方の指導を設定しています。このページはその後の44ページからの「くじらののみみず」という説明的文書を正確に読み解き深く読み味わうための読み方をプレ学習としてわかりやすく示したものです。特に、説明的文書においてのプレ教材は確かな読みを身に付けるために有効であると感じました。

49ページを御覧ください。各教材の最後にある「私の本棚」という欄です。単元に関わる本の紹介がなされています。

また、92ページを御覧ください。私の読書体験にはテレビなどで活躍されている著名な作家のコラムが掲載され興味、関心を広げています。その他にも二次元コードが付けられており発展的な内容を参照したり、今までに習ったことを他の作品に読み広げる工夫がされています。最小限に留められている特徴があります。

続きまして、教育出版を御覧ください。1年生の2ページ、目次を御覧ください。読み物教材では名作といわれる教材が多く掲載されています。読みごたえのあるものも多いと思いますが、このような作品は他社より1作品多く掲載されています。心の発達を促す多様な文学作品を多く配置し、他者との関わりの中で互いの立場や考えを理解し対話を通して交流し考えを深めていくことで道徳的な考え方が育成できるように配慮していますが、少し1年生にとって1年間で学習するには多いのではないかと考えています。

32ページを御覧ください。本紙の特徴でもあります「学びナビ」のところ、この教材で何を学ぶかを示し、見通しを持って学習が進められるように工夫されています。

記載内容が少し難解で、生徒の興味や関心を奪うものになりかねないきらいもありますが授業の工夫次第です。

次に186ページを御覧ください。各学年で「学びのチャレンジ」という特設ページを設けています。全国学力学習状況調査やPISAを踏まえて、これからの社会に求められる読解力、表現力を育成する問題を形成しています。

他の教材で上下二段になっている構成の教材が他社に比べると多く、行数が数えやすい工夫はあるものの字数が非常に多い、内容が多いという印象があります。

最後に、光村図書です。1年生の9ページを御覧ください。見開きになっているところです。各学年とも同じですが、巻頭に思考の地図を示し、思考のツールや情報の可視化の方向を示し課題解決への道筋が示されています。思考のレッスンや情報整理のレッスンの教材を定期的に組み入れて、よくまとめてあり丁寧な作りで使いやすい形ですが、活動が少し多めになりますので、全て1年間で終わられるかが課題になります。

続いて、12ページを御覧ください。「ことばに会うために」とのことで、ここは小学校から中学校へスムーズな移行ができるように工夫がされているところです。

50ページを御覧ください。生徒の主体的な学びのために見開きページで見通しを持つから振り返るまでを学習過程が一目でわかるように示され自分の考えを確立し、根拠を明確にして書いたり話したりするように工夫してあります。「学習の窓」が下にありますが、学習のポイントを図解してわかりやすく示しているのと同時に深い学びへ導く具体的な手立てが示されています。このようなことも活動として多く、全てこなせるかが課題です。

以上、4つの会社の1年生の教科書を見てきましたが、全国学力学習状況調査の結果に

学校教育課参事	も表れていますように滋賀県の中学生は書くことが苦手です。授業ではかなりの力点を置きながら授業を行っていますが、中々結果には表れない現実があります。 4社とも書くことについては言語活動を入れながら主体的に学習できる教材を配置していることは大きく評価できます。 中でも三省堂については、レポートや意見文、創作や情報について学習過程を示しながら丁寧に指導していくことが評価できます。三省堂の1年生の54ページと光村図書の138ページを比較しながら御覧ください。同じ題材でレポートを作成する教材です。字の大きさとか紙面の印象では三省堂はスッキリしていて、苦手な分野に少しでも配慮をしている印象があります。光村図書も良いのですが、字が小さくて説明が多いように感じます。このようなことから三省堂の教科用図書の選択をいたしました。
教育長	ありがとうございます。今の説明について御意見等ございましたらお出しいただきたいと思います。現在使用しているのも三省堂ですね。
学校教育課参事	はい、そうです。資料の一番最終ページに現在の使用している教科用図書を掲載しております。
青地委員	国語だけではなく他の教科にも共通することなのですが、コロナ禍の中で学校以外で自分で学習する場面が設けられてきたかと思います。国語の教科書を現在使っているのは三省堂ですが、それについて、使用している現場の先生方がいわゆる子どもたちが学習する上で活用しやすいところなど、どんな声を聞くことができましたでしょうか。調査研究部会でどれだけ意見が出たかはわかりませんが。
学校教育課参事	調査研究部会でも非常に話題になっていましたのは、QRコードなどのコンテンツを使った部分でした。実際、具体的に家でパソコンで学習することが、コロナ禍でできていたわけではないのですが、今後、そのようなことが生じてくるかもしれません。 国語に関しては、教科書から読み取ることはあまりないのですが、他の教科については、映像の資料を読み取るものが付いているものもあります。他の教科書会社でも付けておられるところもあるのですが、今回の国語科の調査では、この点につきましては、大きく評価を左右することにはなっておりません。 三省堂では、135ページ古典の中であまりイメージしにくい教材では、QRコードを付けて、興味を広げるような内容になっています。
青地委員	特に、国語科の場合が自分で学習を進めて行く体制の中では難しい単元もあります。友達と意見を交換し合って自分の思いを伝えあう学習場面がでてくることがあります。三省堂の場合ですと、181ページに「ブッククラブ」ではテーマに沿った本を数人のグループで読んで、その内容について互いに交流し合いながら読みを深め合っていく、互いに自分の思いをどう伝えるかを考えながら話していこうとする学習があります。これもこれからどうなるか未知ですが、子どもたちが実際にやっという学習があります。これもこれからどうなるか未知ですが、子どもたちが実際にやっという学習があります。これもこれからどうなるか未知ですが、子どもたちが実際にやっという学習があります。これもこれからどうなるか未知ですが、子どもたちが実際にやっという学習があります。

青地委員	今後の課題として国語の場合はこのような課題が多々あるのではないかと考えております。
学校教育課参事	三省堂の30ページを御覧ください。グループディスカッションの仕方で少人数で話し合うようなやり方についても非常に丁寧に書かれています。このような学習はこれから増えていくと思っていますのでそのようなことにも対応していると思います。
綾教育長職務代理人	評価を見ていますと、三省堂と光村図書に関して、②の評価でAとBとに分かれています。相対的に単元が多めだとか量の話で書かれています。実際に教科書を見せていただくと、三省堂の方が見やすいとは感じますが、そのあたりは今年度まで使用していたことも考慮に含まれているというか教える先生方もですし、学ぶ子どもたちの感覚といえますかそのようなことも考慮しながら評価に含まれているのでしょうか。
学校教育課参事	はい、そうですね。子どもの反応ですとか先生方の使いやすさなどを考慮しながら、評価をしています。
教育長	それでは、次に書写の説明をお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・書写) 次は書写です。書写については、現行は東京書籍を使っております。東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書、この4社について調査をしました。 東京書籍は、一番最初のC-1の様式を見ていただくと、①、②、⑤の評価が高くなっています。 ①では「手紙を書こう」とか「本の紹介を書こう」などの国語の教科書と連動した言語活動が提示されています。 ②については、QRコードの連動機能があるために、タブレットとの相性が良いこと。 ⑤については、表現標記、図表等が見やすく視点を落ち着かせて学習しやすいという工夫がされていることで高い評価を付けました。 書写の特性としまして、見本の字、字体の字形や見本の数、また、毛筆や硬筆の練習をする時にどのような教科書が練習しやすいかなども評価の観点としました。そのような観点から総合的に判断すると教育出版の見本本が少し落ちる感じがしました。 残る3社の内、三省堂の見本本の36・37ページを御覧ください。色をたくさん使用する楷書と行書が比較しやすいように楷書を小さくするという様々な工夫がされています。 その後、38ページから43ページまで行書を学んでいきます。そして、44ページから毛筆で学んだことを硬筆で活かそうという練習になるのですが、元に戻って学習をすることになるため、やや効率性に欠けるのではないかと考えました。また、全体的に毛筆の楷書、行書ともに手本の本数が少ないことが気がかりでした。 調査研究部会では特に、東京書籍と光村図書の見本本がわりと評価が高くなりました。 ①の観点から東京書籍の26ページを御覧ください。先ほど言いました「案内の手紙を書こう」のところです。同じく64ページを御覧ください。「本のトップを書こう」、

学校教育課参
事

本の紹介ですね。

今度は、もう一つ光村図書の82ページを御覧ください。壁新聞を作ろうとか110ページ、これも手紙の書き方。このようなものは国語の教科書との連携を意識した言語活動例が提示されていて、授業の中で国語的な部分も書写的な部分も学ぶことができると考えています。光村図書の見本本で特筆すべき点は、書写ブック（別冊の硬筆練習帳）が付いています。別注文ではなく標準本で付属されています。逆に、現場では生徒が紛失することもあります。この練習ブックについては、教員によって様々な授業の進め方があると思いますので、必ずしもプラスであるということはいえないかなと思いました。同じく光村図書で、56ページを御覧ください。朱書きで書かれている部分は毛筆で筆使いが丁寧に表わされており大事なポイントがそこで押さえられています。

その他、48ページ。文字の歴史を探索などコラムがありますが、このような部分は他社と比較すると写真も小さく資料としての弱さを感じました。

東京書籍の2ページを御覧ください。書写で学ぶところがあります。3年間の書写の学ぶことがとても分かりやすく書かれており3年間の書写の学習が見通せるようになっております。

10ページを御覧ください。基本の点画の書き方では、イラストを入れわかりやすくなっています。先ほどの光村図書と比較しますと、トン、スーッ、ピタについても小学校でも学習しているところですが、もう一度中学校でも押さえられるようになっています。

一番最初の目次を御覧ください。先ほど、御質問もありましたQRコードがあり、連動しています。それを読み取ると、動画一覧ページに飛ぶことができます。こういったことも活用しやすいということで東京書籍を選びました。以上です。

教育長

はい、ありがとうございます。書写の説明が終わりました。御意見等ございましたらお願いします。

綾教育長職務
代理者

一点、確認してもよろしいでしょうか。先ほど、国語の時にお話しのありましたQRコードについては、文部科学省のGIGAスクール構想で子どもたちにタブレットの配布を視野に入れて、今回から入っているのでしょうか。今までの教科書にも入っていたのでしょうか。

学校教育課参
事

今までの教科書にも少しはありました。今回は、やはりそのようなこともありますので。ただ、この教科書が作成されているときは、新型コロナウイルス感染症はなかったと思いますが、今後、こういったコンテンツを用いた学習が家でもできるようにということは前から考えられていたことではありますので少しずつ力を入れて充実していただいているかと思います。

青地委員

4社の書写の教科書を比べてみますと体裁の部分で違いがあります。どういうことかと申しますと、例えば、2社は本が大きく、2社は小さめです。それからもう一つ、見本の字について、光村図書の場合は2ページを一面として使っています。それに対して、半分のページに見本が出てきて、それが右にあったり左にあったりするところもあり、社によって違いがあります。この辺の扱いやすさなどの意見は聞かれませんでしたでしょうか。

学校教育課参事

先ほど、説明を省略しましたが、東京書籍は例えば52ページを御覧ください。大体、レイアウトがこのようになっています。右側に説明があり、左側にお手本があります。お手本には何も書いておらず左側に大切なことが記載されているレイアウトです。生徒が右側で学習をし、学習をすることに対して迷うことが少ないと思います。実際に、毛筆の学習をする時には見開きの状態で学び、教科書のポイントが押さえられるようになっています。その後、文字を書く場合に左側の文字の手本に集中できるようになっており、スッキリと見やすいことが良いし、先生方としてもこれが使いやすいと聞いています。

教育長

他はよろしいでしょうか。では次に、地理お願いします。

(学校教育課から説明・・・地理)

学校教育課参事

続きまして、地理です。東京書籍、教育出版、^{ていこくしやういん}帝国書院、^{にほんぶんきやうしゅつばん}日本文教出版の4つの会社でした。東京書籍と帝国書院が甲乙つけがたい評価となりましたが、結論から申し上げますと今は東京書籍を使っておりますが、今回は帝国書院が優れていることからこちらを選びました。

特に、帝国書院は二次元コード、先ほどから話題になっていますQRコードを適切に各所に付されており、近畿地方の学習では滋賀県への環境への取組を挙げている点で良いという判断でした。

例えば、帝国書院の84ページを御覧ください。アフリカ州です、題名の横にQRコードが付いており、アフリカの動画を観ることができます。後で見ただけだと思いますが、本には写真で砂漠の様子が載っています。非常に子どもたちが興味を持つような動画に進むことができます。これが各所にありますのでわかりやすいと思います。

208ページを御覧ください。滋賀県については、208・209ページに特に、地理の学習のイメージを与えやすい、地元のことから始めていくことは特に大切だと思っております。リンを含まない石けんの使用を呼びかける運動の内容が載せられております。

観点に沿ってお話をさせていただきます。

まず、観点①「図書の内容が学習指導要領に示された目標及び学年の発達段階に即応しているか。」につきましては、東京書籍の15ページを御覧ください。

「地理的な見方・考え方を活用する場面」のコーナーがあります。それを開いたまま、帝国書院の巻頭7ページでは「地理的な見方・考え方」の概要を説明していますし、185ページのように地理的な見方・考え方を元に説明する活動が発達段階に応じて適切に示されています。

日本文教出版は、各授業の中で学習課題の中で見方・考え方のコーナーが出てきています。例えば、46ページを見ていただくとその左側の学習課題に見方・考え方が設定されていて、5つの視点が示され、学習活動が具体的に明示されていてこのような点は甲乙つけがたいので、この3社はA評価としました。

観点③「現代的な課題が扱われ、道徳的価値の理解に関わり自主的・自発的な学習に結びつくものであるか。」につきましては、教育出版では巻頭Ⅳに「地球的課題とSDGs(持続可能な開発目標)」が示され、それに関連して世界の諸地域の学習ではそれぞれの地域の学習のまとめ段階で「地域から世界を考えよう」、日本の諸地域の学習では同様に「現代日本の課題を考えよう」との内容で1ページを使い、現代的な課題を考えられるように

学校教育課参事	構成されています。このような点が教育出版の良いところでした。 観点④でいいますと、東京書籍は112・113ページのようにまとめ活動には「みんなでチャレンジ」のコーナーがあり、そこでは「思考ツール」の紹介といった言語活動を活性化させる工夫が見られます。 帝国書院は、各授業のまとめに質の高い発問の記述した「説明しよう」のコーナーが右ページの右下にあります。確認しようとか説明しようとかの工夫がされているので教員が生徒にその学習の課題を示したり、子どもたちが自分で学習をしていく時の指針になるかと思います。以上、地理の教科書でした。
教育長	地理の説明は終わりました。御意見等ございましたらお願いします。
青地委員	いわゆる採点の観点の③「現代的な課題が扱われ、道徳的価値の理解に関わり自主的・自発的な学習に結びつくものであるか。」につきまして、今回は評価されていますのは、教育出版の1社だけです。今、地球的規模の問題が随所で起こっていますが、地理で学習すべきものなのか全教科で学ぶべきところであると思いますが、例えば、教育出版ですと今紹介のあった見開きのページで「地球的課題とSDGs」のことが書かれています。ちょっとしたページではありますが書かれているのは少ないので、これからの子どもたちはそのようなことにも目を広げていってほしいと思いますし、中学生の段階でともいますが目を向けさせていく意味では良いかと思います。他の教科書会社でこのようなことがあれば御紹介いただければと思います
教育長	帝国書院の最初のところの見開きの部分に紹介されています。
学校教育課参事	どの教科書会社も全然ないわけではなく、現代的な課題は等しく取り上げていただいておりますが、教育出版の取り上げ方というのは他の歴史的分野とか地理的分野や公民的分野との関わりとか地理的な見方で地球的な課題をどうみていくのかというような社会の3つの分野を繋げるような見せ方は良いなと評価を高くしました。どの教科書にも力を入れて作ってくださっているかと思います。
教育長	他にございますでしょうか。では、続きまして地図の説明をお願いします。
(学校教育課から説明・・・地図)	
学校教育課参事	地図は、東京書籍と帝国書院の2社について分析をしました。現在は、帝国書院を使っています。両社ともよろしいのですが、サイズのには現場の先生としては、これは感覚の問題ですが、大きい方が良いとの話がありました。全体的に広い紙面になりますと地図が見やすい、2次元コードが適切に各所に施されている特徴があります。 では、観点別に報告いたします。 帝国書院は、13・14ページでは環境問題を取り上げ、現代社会の課題を考えるきっかけとなる資料が掲載されています。地図や動画を見ることができるQRコードが随所に適切に付せられており、自主的に学習が深められるように配慮されています。 東京書籍は、7・8ページに先ほどからお話がでていますSDGs（持続可能な開発目

学校教育課参事

標)の全体像が分かりやすくまとめられており、9～14ページには現代の環境問題を取り上げて、統計資料や写真を元に学習できるように構成されています。

観点⑤でいいますと、帝国書院の地図帳のサイズは教科書に比べて大きく、情報を細かな部分まで読み取りやすく、大きさの違いでも教科書との区別は明確です。日本の地図について、田や果樹園などの土地利用を色分けするとともに、地図記号を重ねて記載しています。このあたりにつきましては帝国書院をA評価としました。

観点⑥でいいますと、帝国書院は、105ページに琵琶湖に関する資料が掲載されており、琵琶湖の水利用や透明度の変化が理解できるようになっています。

また、186ページに滋賀県の手話表現が紹介されており、生徒に広く社会を捉えさせようとする配慮がみられます。QRコードのことも含めこのような広い視野といいですか
色んな面から地理、地図を見ていくということを意識しておられることから、今回は帝国書院の地図帳を良い評価としました。帝国書院はNHKの動画を用いています。地図帳だけでも自学自習ができますので、その点も優れていると思いました。

これは見慣れている点もあるかもしれませんが、どこでもよいのですが日本地図を見ていただくと、東京書籍はロゴの問題かポイント数の問題なのかちょっと見づらい印象で、帝国書院はスッキリと見やすい地図になっていると感じました。

教育長

どこの教科書も一緒ですが、日本の真ん中にある滋賀県は切れてしまってページがまたがり、見にくいのが気になります。

他に御意見等はありませんか。御意見等なければ、続きまして社会科歴史分野の説明をお願いいたします。

(学校教育課から説明・・・社会科 歴史)

学校教育課参事

社会科歴史的分野の調査研究の結果について報告させていただきます。

社会科歴史的分野につきましては、東京書籍・教育出版・帝国書院・山川出版社・日本
文教出版・育鵬社・^{いくほうしゃ}学び舎の7社ございます。学び舎の教科書はお手元に1冊しかありませんのでよろしくお願ひします。

結果的には、社会科の歴史的分野については、日本文教出版の評価が高くなりました。各社とも本編を6～7章の構成にしている点。また、一行の文字数が28～30文字である点、1単元が見開き2ページになっていて、1時間の授業として扱いやすい点、内容の内、近現代の部分の時間数が60時間前後で全体的に近現代中心の内容構成になっている点が共通しております。

また、同様に観点⑤の「表現・表記等が適切かつ正確か」については、「～でした。～しました。」調の文体で親しみやすい表現になっています。

特に、日本文教出版の方が高評価でありましたので、日本文教出版を中心に説明させていただきますが、観点②「図書の内容の組織、配列、分量が適切であるか」については、全体の構成が115時間で設定されており、余裕を持って授業を終わることができます。各編(各章)の最初に見開き大の資料があり、次のページの見開きには「地図で見る世界の動き」を掲載し、学習内容の位置付け、概観ができるよう配慮されており、これは他社には無い工夫点です。

⑤の「表現、表記、および資料、図表、写真、挿絵などが適切かつ正確であり、造本に

学校教育課参
事

創意工夫がなされているか」では、図版と本文のバランスが良く、地図やグラフなどがカラーユニバーサルデザインに対応した配色になっているため非常に見やすい点です。

78ページを御覧ください。使いたい資料等が大きく載せられているのも良いです。金剛力士像が大きく載せられております。これも非常に学習を進めるうえで使いやすいわかりやすい資料が載っています。

89ページの右側に、年表があります。どの時代を学習しているかが一目でわかる工夫がされています。

先ほど申しました、例えば、64・65ページを御覧ください。各単元の最初に見開きのその時代を象徴する資料があります。次のページには日本のその時代が世界のどの時代になるかが掲載されており、これは学習の内容の位置付け、外観がわかるような配慮がされていて他社にはない工夫点でした。

「山川出版社」では、1行の文字数が32文字で他社よりも多く、文字が小さい印象を受けます。今の本市の中学生にとってどうかなというところです。

また、「育鵬社」では、20ページ「歴史絵巻」があり、簡単なイラストで大観し、続いて22・23ページ、虫の目大きな図版によって学習内容への興味付けがありますが、大きな文字の縦書きと横書きが混在し、太字の文章、細字の文章、様々なフォントがあって、全体として見づらい構成になっていると感じます。

そして、「学び舎」では、縦が4cm長く、全体に縦長の造りになっています。あえて文字の太字表記をしていないのが特徴的ですが、先生方が子どもたちに伝えるときにこの部分が大事なところ、重要な歴史語句は太字表記の方がわかりやすいと思われます。

⑤の観点で図版と本文のバランスが非常に良く、106～109ページは、中世の京都の様子と近世の江戸の様子を比較して図版がわかりやすく、臨場感のある読み取りができます。

また、5ページにまとめてデジタルマークが付いていて、QRコードを読み取ることで、色んな単元での学習に役立てられるようになっています。

「教育出版」では、全体として写真資料が多く掲載されていますが、本の質感がザラザラしており、手触りを気にする生徒も出てくることが予想されます。

そのようなことを中心に検討させていただき、最終的に日本文教出版社に決めさせていただきました。

教育長

はいありがとうございました。御意見等があればお願いいたします。

篠原委員

育鵬社にCが3つほどついていますが。研究結果の報告を見ましてもそんなCが付くような決定的なことはないようですが、Cが付くのはどのようなことからなののでしょうか。

学校教育課参
事

最初に説明しました評価の観点でCというのは「普通」ということです。劣るということではなくて、他の出版社の方が良い評価であるAやBとかが付ついていると判断するものです。観点からいいますと、特に、秀でているところがないとのことで、例えば、分量、発達段階であっているかとか、配列、家庭や地域と結びついた学習となっているかという点では特に秀でたところがないということです。

教育長	教科書には関係ないのですが、三輪先生に質問です。歴史分野で近現代が分厚くなっています。私たちの頃は薄く、最後、先生がさっと終わる感じの授業であったかと記憶しておりますが、最近はしっかり教えているのでしょうか。
管理監（学校教育担当）	基本的に前回の改訂から今までは、１・２年生で地理歴史をやり、３年生で公民をやるというくり方でしたが、近現代はしっかり教えないといけない方向で歴史については１～３年生を通じて行い、３年生１学期はほぼ歴史学習をやって２学期以降は公民をやることとなりました。そこに時間を割くことに力を入れています。国全体で近現代をきっちり教えないといけなくなりました。さっと終わるではなく、きっちり指導する形になっています。
綾教育長職務代理者	歴史は時代時代に応じて難しいと思いますが、最近で言うとＳＤＧｓや女性問題、ＬＧＢＴなど教科書によって取り上げられる内容が違いますが、現代問題についてどの辺りまで、どの範囲で選択範囲は選ぶ内容としては取り入れられているのでしょうか。 研究資料を見ているとＳＤＧｓやＬＧＢＴが中心に書かれているものや女性問題などが中心になっているものなどがあり、教科書によって何を教えるというのは全体の流れとして少し触れていたり、先ほどの地理でもＳＤＧｓが触れられていましたし、歴史の方でも現代になってきていますが、そのようなバランスについても考慮されて選ばれているのかと思いました。
学校教育課参事	特に、③になると思いますが、現代的な課題が扱われているかどうかですが、例えば、日文の３００ページを御覧いただくと、「災害の歴史について学ぶ」というようなこと。３０２ページには「政治参加の歴史」、そして、３０４ページ「世界の平和」について、非常にこの教科書は充実して掲載されているかと思います。色んなコラムがありますが、２３３ページの女性史、「女性の政治参加を求めて」などがあったり、「全国水平社」の取り上げ方についても、バランスよく取り上げられていると思いましたので、他の教科書にももちろんありますが、取り上げられ方が子どもたちもわかりやすく、現代でのものの見方・考え方についても広く考えて取り上げられていると思います。
綾教育長職務代理者	そこは観点③が基本ということですか。
学校教育課参事	そこは③で、現代的な課題については、そこで評価をしています。
青地委員	各教科書会社の目次を比較すると、各会社の方向性や視点を伺い知ることができると思います。特に、タイトルの書き方が社によって色々です。近代史に力を入れるということでは、第二次世界大戦に対する捉え方、その後の動きについて、タイトルに如実に現れている気がします。あまり強い思想が表れているものについては、子どもにとってはどうかと思います。お話のあった社については、その辺りができていると感じました。なかなか１社１社、特徴があって、見ていて面白い、楽しい教科書だと思いました。

学校教育課参
事

微妙にそれぞれの社の考え方が表れています。

教育長

他によろしければ、次に、公民の説明をお願いいたします。

(学校教育課から説明・・・公民)

学校教育課参
事

公民は6社ございます。東京書籍・教育出版・帝国書院・日本文教出版・自由社・育鵬社について分析・評価を行いました。結論としては、東京書籍の教科書が最も高い評価となりました。

東京書籍の7ページを御覧ください。①も高い評価でしたが、全ての章の導入部において「探求課題」が設定されており、単元を貫く問いがしっかり示されています。また、各節の導入部にも「探求のステップ」が提示され、単元の学習内容からめあてまではっきりとしたレイアウトになっています。「持続可能な社会に向けて私たちに何ができるのか」と問いかけています。授業者も生徒も第1章全体を貫いたこの「問い」を共有しながら学習を進めるように構成されています。

現代社会の特色をテーマとして第1節から第3節まで構成されており、それぞれの節に「探求のステップ」が設定されています。例えば、18ページを見ていただきますと私たちの探求のステップのところで、「私たちの生活においてなぜ文化が大切にされるのでしょうか」と、それをテーマに考えていくこの探求のステップに沿いながら、各授業でグローバル化であったり情報化社会であったり、文化や宗教を取り上げています。それぞれの学習を進めながら、共通の「持続可能な社会の実現」という問いに向き合う構成となっています。このような単元を貫くテーマ設定は他社の教科書でも取り入れられています。

例えば、教育出版の13ページを御覧ください。「現代社会」をテーマにしたこの章の学習の見通しとして単元を貫く問いを示しています。この章を通して「私たちが生きている現代社会」の見方、考え方を身に付けるというものです。

また、帝国書院の3ページを見ていただきますと、「現代社会と文化」とテーマを章立てしています。一番上の「章の問い、節の問い」がありますので、この3つの社については、良い評価を付けさせていただいております。

観点④について、東京書籍の6ページ、導入の活動が設定されており、アクティブラーニングがしやすくなっています。例えば、37ページから始まる「個人の尊重と日本国憲法」では38ページに「違いの違い」という活動を取り入れ、多様な考え方を生かす言語活動に結びついています。様々な思考ツール(6ページのYチャート、9ページにウェビング法、70ページのツールミン図式など)ふんだんに取り入れられていて生徒の学習活動の幅を広げる工夫があります。このような活動というのは将来に渡り活用できる思考ツールとして価値があるのではないかと思います。

次に、観点⑤については、東京書籍では多くの資料や色彩が使用されており、写真や図表が大きく見やすく読み取りや活用の力を高める内容となっています。

最後に観点⑥の項目ですが、国内外の記事を問わず中学生をはじめとした自分と同年代の人たちの写真や挿絵が多く、様々なニュースなどが身近なものとして捉えやすくなっているのが他社と比べて特徴となっています。

例えば、24ページ、清掃活動をする中学生とか漫画を出していたり、現代の社会の間

学校教育課参事	題と自分たちの実際の活動などを繋ぎ合わせるような図とか写真がよく使われているので、学習を進める上で良いと思いました。 例えば、58ページでも、市議会で路上喫煙の禁止を訴える現代の問題を中学生も自分ごととして考えられる写真や図が工夫されており、東京書籍が良いと思いました。
教育長	御意見、御質問がありましたら、お出してください。
学校教育課参事	もう一点、東京書籍の52ページを御覧ください。平等権を取り扱う内容について、性の多様性いわゆるLGBTのこと、また、同ページの資料には一つ進んで素地、性的思考と性自認についても触れられています。従来の男女の平等の観点や施策だけでなく、自治体としての支援のあり方や社会の理解について触れている点も大きく評価をしました。
教育長	よろしいでしょうか。ここで一旦休憩を取らせていただきまして、10時30分から再開したいと思います。 ～休憩中～
教育長	では、再開いたします。数学の説明をお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・数学) それでは数学の教科用図書につきまして、結論から申しますと大日本図書です。ほとんどの項目で良い評価を付けておりますが、特に、①については、授業の最初に「考えよう」とか「めあて」が設定されており、その授業での課題が何かを意識しやすいように工夫されています。②の観点では1時間の授業内容が見開きページが基本となっており、めあての教示により時間の区切りが明確となっています。⑤の観点では今度から新しく入ってくる「箱ひげ図」と「ヒストグラム」が同時に見られる工夫がなされており、わかりやすい。ポイントがサイドノート風になっており、わかりやすいという視点で評価させていただきました。 大日本図書1年の教科書22ページを御覧ください。1時間の授業内容が大体見開き1ページになっており、最初に「考えよう」で、その時間の課題が示され、「めあて」も明示されており、何を学習するかが明確になっています。 また、基礎・基本の確認・定着についても、各項の中にある「Q」に加え、例えば、40ページにあるような節末の「たしかめよう」、62ページには「1章を振り返ろう」のような補充問題があり非常に問題数やバランスが良いとのことでした。 学習指導要領の1つの理念であります「対話的で深い学び」に関わっては、59ページにあるような問題発見、問題解決の過程を示したものが各章に設けられ、その内容も身近なものや興味が沸く内容になっています。 また、64ページや65ページのような「活用・探究」というページがあり、キャリア教育的な視点もあります。さらに巻末265ページからは「もっと数学の世界へ」ということで、生活の中にありがちな事象などを数学的な視点で考えられるようなページが設けられています。例えば、271ページのようなびわこの水位が問題として書かれています。

学校教育課参
事

マイナスを学習するのですが、どのような時にマイナスを使うかが、具体的に示してあります。

先ほど説明しました「箱ひげ図」について、2年生の教科書175ページを御覧ください。この図には確かに箱にひげが付いています。普通は棒グラフのようなヒストグラムですが、分布を表すのにパッと見てこのような分布の傾向がわかるような図です。各社ともその良さを表すのに工夫していましたが、特に大日本図書については、箱ひげ図とヒストグラムの関係が一度に見られるような工夫がしてあり、分かりやすかったです。これらの特徴により、この教科書が生徒にとっても教員にとっても使いやすいのではないかと判断で、一番の評価を付けさせてもらいました。

他社の教科書の評価・特徴を簡単に示しておきたいと思います。

1 社目は、東京書籍です。導入において生活に密着したものや実際に体験する場面を捉えたものがあり、興味の沸くものになっているとともに何を学習していくかが、掴みやすくなっています。

また、1年の教科書31ページのような「Q・考えてみよう」で「めあて」が示されており、わかりやすい特徴がありました。現代的な課題がこの教科書にも扱われていますが、若干、扱いにくく少し難しい内容だと思いました。

2 社目は学校図書です。章の初めに生徒の興味を持ちそうな内容、数学的事象で意識付けができるようになっているところが良いのですが、この教科書については色使いがシンプルで生徒の興味、関心を引くような図や写真が少ない印象でした。

3 社目は、教育出版です。1年生の教科書70ページの章初めの「Let's Try」でその章の最初に興味の持てる課題が設定してあります。ただ、この教科書は1時間の区切りがまちまちだと感じ、見開きで1時間を学習するような形がやや、やりにくいのではないかと感じました。

4 社目は^{けいりんかん}啓林館です。全体的に良い問題や話題が多かったのですが、「自学、自習」の視点で考えるとやや難しい印象を持ちました。

5 社目は^{すうけんしゅつばん}数研出版です。この会社の最大の特徴は、深い学びのために課題が分冊になっていることです。小学校の学習、既習事項の「ふりかえり」が用意されていたり、良いことだと思いますが、先ほどの書写でもそうでしたが、分冊をどのように捉えるかが問題です。ここもやや難しいと思いました。

最後に日本文教出版です。ここもきちんと「めあて」が明示されており、他社と同じような工夫はされていますが、ここも1時間の区切りがまちまちなどところがあり、実際使用するところでは、決してダメではないのですが、そのようになっている方が使いやすいとのことで大日本図書を選ばせていただきました。

教育長

はい、ありがとうございました。御意見、質問等があればお願いいたします。

各委員

(意見、質問等なし)

教育長

では、理科の説明をお願いいたします。

(学校教育課から説明・・・理科)

理科の調査研究の結果について報告させていただきます。結果から申しますと啓林館の教科書を選びました。啓林館の教科書の良かった点を申し上げますと、①の観点では課題の投げかけ方について工夫されていることと、探求する力を育てるための各節の構成が丁寧であることです。②の観点でいいますと「生命」「地球」「物質」「エネルギー」に分かれているところで、教育課程の編成に柔軟に対応できます。これは、小学校からの繋がり、高等学校への繋がりという意味でも「生命」「地球」「物質」「エネルギー」に分けた方が非常にわかりやすいとのことでした。④の観点でいいますと主体的に探究できる「探求実験」が設定されていて、話し合い活動がしやすくなっています。

特に、⑤ですが、調査研究部長も申し上げていましたが、写真が非常にバランスよくダイナミックな、インパクトのある写真が使われているところで啓林館を推させていただきます。

特に、東京書籍と大日本図書、そして啓林館の3社は特徴があって良いので、この3社に絞って説明します。

まず、大日本図書の2年生の教科書を御覧ください。82・83ページを御覧ください。「生物の体のつくりとはたらき」の単元の始まりです。小学校からこれまでに学習したことが繋がるように示されています。そして、これから学習することが掲載され、見通しを持って学習に臨むことができます。

2ページの目次を御覧ください。単元に番号が振られていて、単元1～単元4と表記されています。各校で教育課程を編成する際に柔軟性が失われてしまうことが懸念されます。

次に、東京書籍の教科書です。手に取っていただいたらわかるようにA4のスリム版の大きさになっています。この出版社だけが採用しているもので特徴的ですが、1年生の6ページの目次を御覧ください。大日本図書と同じように単元に番号が振られていて単元1～単元4と表記されています。7ページには、インターネットを活用した学習ができるようにQRコードが載っています。

次に、2年生98・99ページを御覧ください。写真や図が小さくて、少し不鮮明な印象を受けます。それを開いたまま、啓林館の2年生の8・9ページも御覧ください。「生物のからだの細胞のつくり」を学習するところですが、非常に大きめではっきりとわかりやすい細胞の写真が目飛び込んできます。他社と比べるとわかりますように、啓林館の教科書は写真が大き目でダイナミックかつ繊細な写真が多いのがわかります。

理科の学習ではビデオとか動画とか顕微鏡とかを見せることが多くあります。学校でここまで見せる顕微鏡はないので写真の教材は非常に大事になってきます。そういった意味でも普段からこのような写真で見れないものを見るのは適していると感じました。

先ほども申しましたが、目次を御覧ください。単元1単元2が他の教科書にも書いていましたが、啓林館の良さは2年生7・8ページ「生命」「地球」「物質」「エネルギー」というくりに大きく分かれていて、1年生から3年生も同じ分け方になっており3年間の繋がりが一式されています。このあたりも3年間の学習を進めていただくうえで、非常に子どもたちの頭の中の整理に良いのではないかと思います。

次に、同じ2年生35ページを御覧ください。「唾液のはたらき」について、探究活動を行う方法が示され、ページの下から3分の1くらいのところに「探求の振り返り」として、306ページに進みなさいと指示があります。ここで探求の流れと振り返りが適切に進んでいるかを検証することができ、生徒の自主的な学習を支援します。先ほどから話題

学校教育課参事	になっていますQRコードも各所に付いており、自分で学習を進めていくうえで、非常に良いかと思います。
教育長	御意見、御質問等があればお願いいたします。
篠原委員	去年も啓林館だったと思いますが、別冊が付いていたかと思いますが、今年は無くなったのですね。
学校教育課参事	使い勝手が悪かったのかもしれませんが、今年はこれだけになっていますので無くなっております。やはり、これも良し悪しだと思いますが、ワークブックが付いている場合と付いていない場合があります。教科書会社も非常に工夫をされていますが、現場では理科の担当教員がプリント等を自由に作られますので、あれば便利だという考え方もありますが、授業の進み具合だとか子どもたちの弱いところを補強する時に既成のものがあると使いにくい点もあるのかなということは現場の先生がおっしゃっていました。実際、啓林館が無くされた理由がそれかどうかはわかりませんが。
教育長	他、よろしいでしょうか。なければ次に、音楽、器楽の説明を一緒にお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・音楽、器楽) 音楽ですけれども、中学校の音楽では一般の教科書と1年生から3年生まで続けて使用します器楽の教科書があります。併せて説明をします。 音楽科は教育出版社と教育芸術社きょういくげいじゆつしゃ、この2社から、発行されています教科書について調査研究を行いました。結論から申し上げますと、一般、器楽ともこれまでの教育芸術社から教育出版社に変更することになりました。 特に②の「配列、分量が適切であるか。」については、共通教材の配置、発達年齢、難易度、季節等無理がないこと。採択方針⑤「表現、表記、および資料、図表、写真、挿絵などが適切かつ正確であり、造本に創意工夫がなされているか」に関わっては、ダイナミックな美しい写真が用いられていたり、共通教材では美しい日本の風景が写し出されているのがあり、歌詞の情景がイメージしやすいような認識でした。⑦「図書の内容が、家庭や地域と結びついた学習となるよう工夫されているか。」に関わっては、あまり差はありませんでしたが、創作のところではドラムの演奏等でも使うという親しみやすさがありました。 先ほどから申しています共通教材ですが、共通教材といえますのは音楽の指導要領の中に昔から日本で長く歌われ親しまれている「赤とんぼ」「浜辺の歌」「荒城の月」などが共通教材です。教育出版の共通教材2年生、1年生の巻頭の「夏の思い出」、皆さんがよく知っている歌です。ともすると、昔からの歌が段々消えつつあって、子どもたちも知らないということがありますが、非常に印象深く取りあげられています。美しい日本の風景が映し出されていて、歌詞の情景がイメージしやすいように写真の説明も付いているが評価をさせていただいたところです。 ⑤に関わってきますが、ギターのパージで2社を比較したいと思います。教育出版社29ページと教育芸術社の35ページを御覧ください。ギターは中学生は非常に弾いてみた

学校教育課参事	くなる楽器であり、特に注目したのは教育出版社の29ページにどの指でどの弦を押さえたらいかががわかりやすく、指導しやすく非常に良い印象でした。 教育出版社の8・9ページのリコーダーです。小学校ではソプラノリコーダーを使い、中学校ではアルトリコーダーを使います。左手で吹いてみよう、その前の6ページは「ひとつの音で吹いてみよう」と、指のどこを抑えるか非常に丁寧に表示してあり、徐々に指導学習ができるような工夫がしてあることを評価しました。 一般と器楽と一緒に説明をしてしまいましたが、このような点で教育出版社が適しているのではないかと判断しました。
教育長	御意見、御質問等があればお願いいたします。
青地委員	昨年の教科書と変わることになると、2、3年の上下の扱いですが、現在使用している学年はどのように教科書は扱われますでしょうか。
学校教育課参事	3年生だけが現行の教科書のままです。1、2年生は新しい上下の教科書をもらいます。
教育長	それでは、美術の説明をお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・美術) 美術科では、結果から申しますと現在も日本文教出版の教科書を使わせていただいておりますが、次も日本文教出版を選択しました。 特に他と比べて良かった点は、①の観点で新学習指導要領の評価の3観点に沿って、目標が明記されていること。④対話型の鑑賞が行いやすい。学習効果が期待できるということ。あと③にも関わると思いますが生徒が活動している写真が非常に多く取り入れられていて、単に作品を作るというよりもその作った作品を囲んで観ながら鑑賞しながら学習していくということがこれからの美術の在り方にとってもふさわしいのではということで日文を選びました。 日文の美術1の22ページに参考作品が作者、制作者と共に紹介されていたり、2・3年下36ページに生徒が話し合っている場面や制作に取り組む姿が数多く紹介されていますので、作品を作ってこのように話し合えばよいのだとかプロセスが自然と実感でき、生徒が「自分もやってみよう」と思える内容になっています。 2・3年上10ページ生徒の作品を大きな写真で取り上げたページが多いです。作品の写真は様々なアングルから捉えたものなど、見せ方に工夫が感じられます。 2・3年下8ページには生徒の作品、作っている風景、過去の作家の自画像をおりまぜながら、自画像というものがどのようなものなのかをきちんと説明していただいていると思いました。 開隆堂では、先ほどのように生徒が話し合っているとか自分が作ったものを見せているところが少ないように思います。生徒が作っている風景はあります。例えば、美術1の21ページのように生徒が作品を作っていたり、22ページに生徒が構想をねっていたりするのですが、生徒がやってみようと思えるようなものではないという印象です。全体的に

学校教育課参事	作家作品が多く、生徒の作品はあまり多くはないような気がします。 光村図書は、優れた作品をバランスよく掲載して、デザインの学習では形の面白さや機能性を比較して鑑賞しやすいなど工夫されたページが多いのですが、作品写真は、過去に教科書や資料で使われたものが多く、新鮮さに欠ける印象です。 そのようなことから総合的に判断をして、日本文教出版の教科書を選びました。
教育長	御意見、御質問があればお願いいたします。
各委員	(意見、質問等なし)
教育長	次に、保健体育の説明をお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・保健体育) 保健体育科の説明をさせていただきます。 今までは大日本図書を使用しておりましたが、大修館^{たいしゅうかん}に変えさせていただきたいと思っております。特に③気づきにくい課題が紹介されており、普段の生活を振り返るきっかけにしやすいところ。④外部リンクが多いところ。⑤写真とイラストがバランスよく使われており生徒の興味を引くように工夫がなされているところ。 大修館の24ページを御覧ください。「保健の窓」というコラムが載っています。ここには普段には気づきにくい現代的な課題が取り扱われていて、普段の生徒の生活を振り返るきっかけにしやすい内容となっており、ここでは今よく使用しますスマホやタブレット、そのようなことをきっかけにして話を進めていくことができますので非常に使いやすくなっています。 大修館の26ページを御覧ください。章のまとめに問題が記載されています。この問題が、新指導要領の3観点に添った問題となっています。自主的・自発的な学習を促しやすい表記となっていることが評価が高かった点です。 21・23ページ、「学習のまとめ(生かそう)」「学習のまとめ(確認しよう)」の2種類に分け、学習を振り返りやすいよう工夫されています。 大日本図書の19ページにも「活用して深めよう」がありますが比較してみてください。大修館の方の学習のまとめの方が学習しやすいし、丁寧だと思います。 非常に紙面が見やすく、今、開いています22・23ページも真ん中に本文があり、周りに資料があるレイアウトです。例えば、先ほどの大日本図書については左側に本文があり右側に資料があります。これは良し悪しですが、見開きで1時間授業を進めていくうえで、あるいは半分しか進まない場合がありますが、非常に使いやすいという意見が出ていました。特に、大修館の良いところを説明させていただきました。
教育長	保健体育について御意見、御質問等があればお願いいたします。
各委員	(意見、質問等なし)
教育長	では、次に技術家庭、一括で説明をお願いいたします。

学校教育課参
事

(学校教育課から説明・・・技術家庭)

技術家庭には技術分野と家庭分野がございます。最終的には開隆堂を選びました。

技術分野においては②③④が特に高い評価を付けさせていただきました。図書の内容や組織、配列、分量がほぼ適切です。

家庭科については、色が見やすくわかりやすい内容になっていること。L G B Tなどの多様性を視点に入れた写真や参考書資料が記載されているところが良いと思いました。

技術科の開隆堂の162ページを御覧ください。上に学習の目標があり、その下に、「調べてみよう」があります。このように生徒にとってわかりやすい言葉に置き換えて示され、自分で学習を進める際の参考にもなります。

同じく開隆堂の家庭科173ページを開けてください。

先ほどからSDGsとかLGBTとかについて話がありましたが具体的な話になります。ここではある公立中学校の制服選択の話が挙げられており、性別に関係なく制服が選べます。

家庭科で開隆堂の118ページ、東京書籍の74ページを御覧ください。どちらもハンバーグの調理説明です。どちらも良いのですが、東京書籍の方が字が細かく、たくさんの情報できっちり詰められており少々見にくさを感じる印象を受けました。

一方、開隆堂は情報量や文字の大きさが適当ですので、空白を適度に設けることができ、見やすいと思いました。また、図やグラフ、資料の配置も的確で、比較対象は大きさや色を揃えるなどの工夫がされています。その他、QRコードなどの工夫もされています。

教育長

技術家庭について御意見、御質問等があればお願いいたします。

各委員

(意見、質問等なし)

教育長

では、次に英語について説明をお願いいたします。

学校教育課参
事

(学校教育課から説明・・・英語)

続きまして英語を説明します。英語につきましては東京書籍のNEW HORIZONを選びました。東京書籍の良いところは、①の観点は小学校からの接続が非常に重視されております。

②の観点については分量が適切であること。③の観点は現代的で興味を引く話題が集められていること。④はポスターセッションやパンフレット作りなど活動が体験的にできるように工夫がされています。⑤は写真や挿絵などがバランスよく配置されていて学習者の興味を引く、理解を助けたりすることができます。

例えば、NEW HORIZON 1年生の前半ではEnjoy Communicationが各ページ左上に設定されています。小学校英語でも学んだことに関連した内容になっており、これを各章の最初に配置することで小学校でもこんなふうにしたなと思い出させながら、中学校の英語学習に入っていけることができるような工夫がされています。

他の社の教科書にもそのような配慮はされているものもありますが、東京書籍の方のやり方が明確に指示されわかりやすく取り組みやすいです。Enjoy Communicationがあり、「小学校の単語」を別に示されており、中学校の新出単語がみつかりやすくなっております。

また、東京書籍は現代的な問題、環境や防災、AI、国際平和エネルギー問題などバラ

学校教育課参事	ンスよく配置されていると思います。人権的な配慮もなされているかと思います。 体験的な学習については、キャリア学習的な要素において、他の出版社でもあります、例えば、東京書籍の2年生36ページでは工場見学でわかったことを書くとか48ページには、自分が将来してみたい仕事について考えさせるワークが付いていたりして、そのような工夫が多くなされているところが特徴です。QRコードはどの社も入っていますが、東京書籍は参考映像が入っており非常に使いやすいとのことでした。 これは、教師側のことですが、教師用の指導書にデジタル教科書をセットしております。そのようなことから英語科については東京書籍 NEW HORIZON を選びました。
教育長	英語科について御意見、御質問等があればお願いいたします。
篠原委員	小学校で使用しているのもたしか東京書籍でしたよね。
学校教育課参事	だからといって東京書籍というわけではありませんが、関連しやすいとは思いますが。
教育長	小学校の英語が始まりましたので、その当たりの繋がりが上手くいくかということもありますね。他によろしければ、次の道徳について説明をお願いいたします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・道徳) 結論から申しますと、日本文教出版の教科用図書を選びました 特に③④⑤の評価ですが、③については「いじめと向き合う」直接的、間接的に扱う教材で集中的に学ぶことでより多面的多角的に捉えられるように設定されています。④ペアトーク、グループトークの学習形態が各所に設定されています。⑤内容項目の4つの見出しの色を変えてあり、どのような学習をするのかわかりやすい、これは前から道徳ノートが別冊で用意されていることが評価の観点となりました。 今回の指導要領の改訂により目標を実現するためには一人一人の生徒が自分自身の問題として捉え、考え議論する授業などを通じて生徒の道徳性を育むことが大切になります。キーワードとしては考え議論する道徳、このようなことを踏まえながら、今回は7社ありましたけれども簡単に説明していきます。 まず、東京書籍です。特徴としては、話し合い活動を重視しているところです。例えば、各学年3ページに「話し合いの手引き」を付けています。丁寧に説明することで、具体的な活動に結び付けやすくなっています。実際の活動例も取り上げてあります。 次に、教育出版の特徴としては、各教材が適正な分量・内容になっていました。教材末の「学びの道しるべ」には、自分ごととして考えられるような良い問いがありました。話し合いや多面的に考えるための教材は少なかったような印象でした。 光村図書は、イラスト、インタビュー、漫画教材等の読み物以外の教材が多くありました。これは、扱いやすさでは良いのか悪いのかは意見が分かれるところです。例えば、1年の35ページのように、「グループで話し合って考えよう」という提示の仕方に留まっており、よくいいますと教師の投げかけ方にかかっているといえますが、もう少し話し合いの仕方とかがわかるような教材であっても良いのではないかということでした。

学校教育課参事	日本文教出版は、現代的な課題に関する内容は多く、教材の後にはその内容を充実させるためのコラムが多数掲載されています。例えば、1年の26ページには、学習形態が具体的な例をあげながら提示されてあります。考え・議論する道徳に対応しています。 学研教育は、教材が見開きで始まり見開きで終わるので、授業に集中しやすい工夫がされています。また、「クローズアップ」として、教材の終わりに内容を深めるためのコラムが多数掲載されています。その数はどの出版社よりも多くなっていますが、家庭や地域に関わる教材は掲載されていますが、地域社会と密接に結びついた学習とはなりにくい印象があるという評価です。教材名の下に「こういう視点で考えてみよう」というフレーズが書かれていますが、授業をする場合に生徒の多様な考え方を出させる使い方にはどうかという意見もありました。 あかつきは、感動教材や名作教材が多く掲載されています。しかしながら、少々ページ数が多くなり、読むだけで時間が取られるものがあります。 日本教科書は、教材末には「考え・話し合ってみよう」で話し合ってみようとの記載はありますが、具体的な説明がされていないなど、多面的・多角的に考えたり話し合ったりするにはもう少し工夫があった方が良いのではないかと思います。 色んな面から先ほど申しました日本文教出版は、子どもたちに話し合わせるとか、自分の考えをまとめるなど活動をしやすい構成になっていますので、そこを選ばさせていただきました。他にも見開きで始まり見開きで終わるとか、登場人物が紹介されているとか、その登場人物が自問自答する場面がクローズアップされて紹介されている題材が良いと感じました。
教育長	道徳について、御意見、御質問等があればお願いいたします。
綾教育長職務代理者	確認ですが、先ほど副読本が付いていたら、無くしやすいとかという問題が出ていましたが、ほとんどこれは付いているのではないのでしょうか。
学校教育課参事	はい、これはほとんど付いています。道徳については教科書も学校に置きっぱなしにしておきますし、できるだけ無くさないようにする必要があります。教師にとってはこれだけやらないといけないとかプレッシャーにはなりますが、それだけ元々、用意されていることが教師にとって扱いやすいと道徳の場合は考えました。
教育長	それでは、議案第24号「令和3年度から使用する東近江市立中学校教科用図書の採択につき議決を求めることについて」、先ほど来、説明がありましたように、国語は、現在も使用している三省堂、書写は現在の東京書籍、社会科の地理は帝国書院、従来は東京書籍でした。地図は現在使用中の帝国書院、社会科の歴史分野は現在の日本文教出版、公民は東京書籍、数学は現在使用中の大日本図書、理科は啓林館、音楽の一般については教育出版、器楽についても教育出版、美術について日本文教出版、保健体育は大修館、現在使用中の大日本図書から大修館に変わります。技術・家庭については技術分野・家庭分野ともに現在使用中の開隆堂です。英語については現在使用中の東京書籍、道徳については日本文教出版です。以上提案です。御承認いただけますでしょうか。

各委員

(異議なし)

教育長

はい、承認いただけたということで、「議案２４号」は原案どおりの可決といたします。
引き続き、議案第２５号「令和３年度使用東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について」担当から説明をお願いします。

学校教育課参事

(学校教育課から説明・・・中学校特支１・２・３年国語)

ありがとうございました。続きまして、議案第２５号「令和３年度使用東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択につき、議決を求めることについて」についてです。
特別支援学級教科用図書については、毎年採択を義務付けられているため、令和３年度の教科用図書を滋賀県教科用図書第３地区協議会で選定を受けて、本市立小中学校特別支援学級教科用図書として採択したく、本議案を提出したものでございます。

中学校特別支援学級教科用図書につきましては、別表１のとおりです。

結果としましては、議案書にありますように１年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語４」、２年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語５」、３年生で「くらしに役立つ国語」を選定しました。

これまでは１年生で「国語☆☆☆☆」文部科学省著作教科書で、２年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語４」、３年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語５」を使用しておりました。今回は２・３年で使用していました「ゆっくり学ぶ子のための国語４」を１年生、「ゆっくり学ぶ子のための国語５」を２年生で、３年生で「くらしに役立つ国語」を使いたいと思っています。

新しく３年生に「くらしに役立つ国語」を選択したいと思います。その６ページあるいは１２、２４、１００ページを御覧ください。自己紹介や電話などあいさつや会話をする力や表現力を高めるよう日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深め、活用する力を育てる工夫がされています。学習が進めやすいようにメモの利用や具体例、注意点が示されており、表現力の育成に特に力が入れています。７６、８０ページには物語や詩が、７０、７８ページでは俳句や百人一首が扱われるなど、生徒の読書活動に繋がる内容も充実しています。１０７～１１５ページでは、履歴書や病院の受付や問診票、定期券の申込書などが写真付きで詳しく取り扱われています。近年、高等養護学校への進学希望者が増加傾向にあり、卒業後の就職に向けた内容が充実していますので、３年生での使用に適しています。以上の点から、「くらしに役立つ国語」を中学３年生国語科の教科用図書として選びました。

１年生で使用する教科用図書を現行の「国語☆☆☆☆」をやめて、現在２年生で使用している「ゆっくり学ぶ子のための国語４」と比べて選びました。

「国語☆☆☆☆」は、養護学校で採用されている文部科学省著作教科書で、学習指導要領に沿った内容になっていますが、文字の大きさが中学生にはやや大きく、分量的に少なく感じるものもあります。また、そこに載っています「色々な書類」は１年生でやるよりも３年生で学習した方が効果的であると考えます。このように、「国語☆☆☆☆」は１年生～３年生、どの学年でも使えるように作られていますので、１年生で使うと考えるとやや物足りなく感じます。１年生で使用する教科用図書については、今まで２年生で使っていました「ゆっくり学ぶ子のための国語４」を推薦したいと思っています。

教育長	基本的には、「くらしに役立つ国語」を３年生で使用し、あとはそれぞれ使用する学年を下げて、１年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語４」、２年生で「ゆっくり学ぶ子のための国語５」を使うということです。御意見、御質問等があればお願いいたします。
各委員	(意見、質問等なし)
教育長	では、小学校の英語の説明をお願いします。
学校教育課参事	(学校教育課から説明・・・小学校特支６年外国語) 令和２年度は、５、６年生使用ということで採択していただいた「絵本ＡＢＣ」ですが、これも良いのでこれを５年生使用にして、令和３年度の６年生には、５年生の時と同じ教科用図書ではなく新しい教科用図書を選んだ方が良いと判断し、「はじめてのえいごレッスン」を採択していただきたいと考えています。 中学校の方で「JUNIOR COLOMBUS」に繋げるため、間にもうひとつ簡単な日常英会話が楽しめる本が良いということで、お手元に置いています「はじめてのえいごレッスン」という教科書です。比較をしましたのが「えいごえほん ぞうさん がっこうに行く」と「親子でうたう英語うたの絵じてん」です。 まず、「えいごえほん ぞうさん がっこうに行く」ですが、一日の生活がストーリーのある話で展開されているので、児童の興味関心を高めやすいです。朝起きる時間（７時）から、下校の時間（３時）までが１冊のお話として構成されています。非常に良いところがあると思いますが、残念なこととして、応用的なことには対応しにくいことです。例えば、How are you?（元気ですか？）の返答として、I'm fine としか掲載されておらず、お腹がすいている、疲れた等の他の気持ちを表現しようとした場合には、別の方法での指導が必要となります。 あと、発音に関してです。発音は、カタカナで表記してあり、太い文字は強く発音する等の工夫もされているのですが、さらに、ＣＤが付いていると聞くことを通して発音に親しむこともできることが惜しい点です。 「はじめてのえいごレッスン」の良い点は、アルファベットの学習から始まり、色・形・数など基礎的な英語、身の回りにあるもの、動作を表す英語が段階的に取り上げられています。先ほど言いましたように、「絵本ＡＢＣ」とそして、中学校特別支援学級で使用する教科用図書「JUNIOR COLUMBUS」への繋ぎとして適しているといえます。 気持ちを表す言葉がたくさんあって「ぞうさんがっこうに行く」にはなかった語や表現が学べるのも良い点です。また、あそびのページが充実しており、間違い探しやイラストのまねをして動く（座る・立つ・走る・ジャンプをする）など、体を動かすことで楽しく英語が覚えられるようになっている点も良いです。また、ＣＤ付きなので、正しい発音を繰り返し聞けることも良い点です。 これは２０１９年１２月に発行された新しい本なので、取り扱っている物事が、現代の日常生活にマッチしており、文字もユニバーサルフォントに近い字体なので読みやすくなっています。 ３冊目の「親子でうたう英語うたの絵じてん」です。 歌を通して英語の音声に関する感覚を身につけ、英語への関心や意欲を高めることがで

学校教育課参事	きます。 残念な点は、歌（音声）として耳からの情報が中心となるため、ことば（歌詞）が聞き取りにくい部分もあることです。２冊目の副読本として使うなら良いかもしれませんが、教科書では物足りない部分があるかなと感じました。 これらの点を総合的に考えて、６年生の外国語の教科書として、２冊目の「あそびがいっぱい！はじめてのえいごレッスン」が適切ではないかと考えました。
教育長	ありがとうございます。御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。
各委員	（意見、質問等なし）
教育長	では、議案第２５号「令和３年度東近江市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択につき議決を求めることについて」、提案のとおり、中学１年生の国語で「ゆっくり学ぶ子のための「国語」４」、中学２年生で「ゆっくり学ぶ子のための「国語」５」、中学３年生で「くらしに役立つ国語」、小学校特別支援学級教科用図書、６年生の外国語、「はじめてのえいごレッスン」以上の提案につきまして、御承認いただけますでしょうか。
各委員	（異議なし）
教育長	それでは、「議案第２５号」は原案通り可決ということです。 以上で全ての議案は終了しました。何か全体を通して御意見等ございましたらお願いします。
綾教育長職務代理者	様式Ｃ－２の記入の仕方ですが、例えば、ＡＢＣなどの評価とかが書いてあるものや書いていないものなど、バラバラですので統一していただくことはできないものか検討をお願いします。
教育長	わかりました。検討させていただきます。 以上をもちまして、令和２年第７回教育委員会臨時会を終了させていただきます。ありがとうございました。引き続き午後から定例会よろしくをお願いします。

会議終了 正午

会議録署名委員

会議録署名委員

教 育 長
